

戦争と煙草	早田正雄	597
小売商店に於ける被傭者の企業所有		
——ペニー・システム——	土屋重隆	607
所謂「科学としての統計学」について	山県一雄	634
生糸貿易に於ける「外商排斥運動」の意義	岩沢寛	656
松波仁一郎博士略歴		681

第11卷 第1号 (1938年4月)

論 文

事変下の中小商工業問題	井上貞蔵	1
商業の本質に関する若干の研究	宇尾野宗尊	50
初期肥料市場の研究	志村茂治	72

第11卷 第2号 (1938年6月)

論 文

貨幣の生成に就ての一考察		
——主として方法論的観点より——	青木孝義	1
海運運賃収益上の一考察		
—— Payable Tons 其他について——	松葉栄重	59
米国の景気及び景気政策の発展	平尾弥五郎	69
紹 介		
難波田春夫『国家と経済』第1巻 (序説)	山県一雄	90

第11卷 第3～6号 (1939年1月)

戦時経済特輯号

論 文

北支開発株式会社	松波仁一郎	1
統制経済論	河津暹	22
支那事変下の人口対策	永井亨	43
対支経済政策の三段階	田中貢	83
物価対策論	井上貞蔵	104
第73帝国議会の農業立法	永田菊四郎	117
戦時増税の一考察	小幡清金	150
戦時経済と企業者	宇尾野宗尊	176
戦時経済と広告	青木庄左衛門	192
為替清算制度に就いて	高橋芳三	211

戦時硫安統制	志村茂治	242
支那の中央及び地方財政を論ず	小林幾次郎	267
支那事変と我国經濟政策	大竹虎雄	290
時局と保險業界	北沢宥勝	323
戦時貿易と国際環境	平尾弥五郎	342
大戦当時の英国地方株式取引所並に株価	上林正矩	358
欧洲大戦時の社会問題	早田正雄	382
戦時価格機構について	山県一雄	405
戦時經濟立法と商法	竹内敏夫	431

第12卷 第1号 (1939年5月)

論 文

天保14年の用金賦課に就て	小幡清金	1
わが国の水産業について(上)	飯田照夫	34
改正商法によりて認められたる後配株に就て	平岡市三	49
北支經濟の概要	小林幾次郎	81
紹介	大森英治郎	105

第12卷 第2号 (1939年6月)

論 文

貨幣商品説に就て(上)	青木孝義	1
合理的収益に関する研究	宇尾野宗尊	37
わが国の水産業について(上の二)	飯田照夫	59
北海道における前期商業資本	志村茂治	77

第12卷 第3号 (1939年10月)

論 文

貨幣商品説に就て(下)	青木孝義	1
最近蘇聯邦交通事情(上)	松葉栄重	36
廣告訴求論	青木庄左衛門	52
わが国の水産業について(中)	飯田照夫	81

第12卷 第4号 (1939年12月)

論 文

人口政策上より見たる戦時国民生活の安定	永井亨	1
---------------------	-----	---

産業組合の本質と産業組合法	寺内祥一	22
銀行監査に就いて	松浦嘉俊	32
職員健康保険について	大森英治郎	88
北支の資源に就て	高橋芳三	114
経営経済上に於ける株式会社整理概念に就いて ——主として Sanierung を中心として——	片岡義雄	140

第12巻 第5・6号 (1940年4月)

經濟組合特輯号

論 文

時局と經濟組合	井上貞蔵	1
実質貿易論 ——貿易の数量的觀察——	川端巖	25
商店街支持力として都力の問題	石川栄耀	70
事変下に於ける産業組合金融	窪田角一	110
戦時經濟統制と工業組合の現状と今後の動向	佐野卓男	138
事変下の我国の産業組合	浜田道之助	161
商業組合に依る企業合同化傾向	稻川宮雄	183
産業組合の受動性と能動性 ——戦時下に於ける産業組合の機能發揮の角度に就て——	青木一已	200
商業組合会計に就て	安藤豊作	223
經濟組合とその配給分野	土屋重隆	240

第13巻 第1号 (1940年7月)

論 文

産業報国運動の動向と本質	三好豊太郎	1
実質貸銀問題の新学説について	加藤一雄	28
軍需品工場の簿記(上)	河合寿一	49
危機における経済学	山県一雄	70
紹介 三好豊太郎氏著『新労務管理』	飯田照夫	95

第13巻 第2号 (1940年9月)

論 文

分配上から見た「戦争景气」と「時変景气」	鈴木憲久	1
本邦各都市に於ける工場誘致の概況	石川栄耀	26

最近蘇聯邦交通事情(下)	松 葉 栄 重	45
軍需品工場の簿記(下)	河 合 寿 一	58
資料と紹介		
配給費用分析について	関 太 一	81

第13卷 第3・4号 (1940年12月)

論 文

貨幣の本質の問題	青 木 孝 義	1
商標に就て	永 田 菊 四 郎	11
アメリカに於けるレシーヴァ・シツプ会計に就いて	片 岡 義 雄	41
手形交換所に就て	永 田 鉄 三	95
間接費の範疇と其の配賦	岡 本 正 道	119
所謂「日本経済学」の諸方向		
——危機に於ける経済学(中)——	山 県 一 雄	130
物価政策遂行上の諸問題(一)	渡 部 光 明	148

第13卷 第5・6号 (1941年3月)

論 文

我が保険監督法規の改正に就て	北 沢 宥 勝	1
経営有機体の観念と経済新体制に就いて	宇 尾 野 宗 尊	21
徳川幕府の強制公債	小 幡 清 金	40
店員の精神的待遇の一考察	大 森 英 治 郎	82
支那の統税について	小 林 幾 次 郎	96
税法上の減価償却に就て	福 田 高 行	117
東亜共栄圏建設下に於ける我が水産食糧	越 智 義 虎	154

第14卷 第1号 (1941年8月)

論 文

航空港に就て	松 葉 栄 重	1
社債発行差金及発行費の本質並其の会計処理法に就て	平 岡 市 三	23
英米の社債担保に関する研究	板 橋 菊 松	48
所謂「日本経済学」の諸方向		
——危機に於ける経済学(下)——	山 県 一 雄	60
間接費の簿記的処理	岡 本 正 道	107

第14卷 第2号 (1941年9月)

論 文

各国民間航空事業の史的考察(上)	松 葉 栄 重	1
有機体の生活現象と経営調和の觀念に関する研究	宇尾野 宗 尊	28
ナチス・ドイツの農業政策(一)	飯 田 照 夫	66
日本金融統制の基礎工作	鈴 木 憲 久	83

第14卷 第3号 (1941年11月)

論 文

経営有機体観に基く恩田民親の藩政再編成と臣道に関する一考察	宇尾野 宗 尊	1
我国戦時貿易政策の変遷と貿易新体制	高 橋 芳 三	22
中支那の經濟地理的考察(一)		
——中支那の自然的・物的生産基礎——	小 林 幾次郎	48
世界經濟構成の理論		
——転成期における世界經濟の国民主義的把握——	平 尾 弥五郎	86
紹 介		
加藤一雄氏著『経済学概論』を読む	青 木 孝 義	115

第14卷 第4号 (1942年1月)

論 文

独逸民間航空の若干の考察	松 葉 栄 重	1
中支那の經濟地理的考察(二)		
——中支那の自然的・物的生産基礎——	小 林 幾次郎	31
翻 訳		
ゾンバルト『世界観と科学と経済』	山 県 一 雄	57

第14卷 第5・6号 (1942年4月)

大東亜共栄圏經濟特輯号

論 文

東西二大広域經濟建設の指導理念	鈴 木 憲 久	1
大東亜共栄圏經濟建設の基調としての皇道	宇尾野 宗 尊	31
大東亜共栄圏と我国海洋政策	松 葉 栄 重	73
為替管理	永 田 鉄 三	97
支那の半植民地と外債	小 林 幾次郎	121

大東亜共栄圏と香港の中継貿易港問題	板橋菊松	160
比島經濟の發展	青木孝義	181
南蛮文化と我が国民性	呉文炳	194

第15卷 第1～3号 (1943年1月)

論 文

高度国防国家と經濟政策	河津 暹	1
大東亜支配の思想史的發展〔上〕	鈴木 憲久	22
東亜共栄圏通貨制度の根本観	青木 孝義	57
マイルネスにおける「賃銀の理論」	加藤 一雄	70
貿易業の整備統合に就て	高橋 芳三	103
南方圏の華僑問題	北沢 宥勝	120
金融統制と普通銀行改組問題	永田 鉄三	148
作業工程管理の實際	大沼 健吉	160

第15卷 第4～6号 (1943年4月)

論 文

日本世界観と經營經濟学の方法に関する私見	宇尾野 宗尊	1
古代印度の船舶・航海・貿易	松葉 栄重	39
轉換社債の特質及會計問題	平岡 市三	73
諸民族間に於ける結婚、育児の種々相	早田 正雄	100
ウールフ『古代會計史』	片岡 義雄	132

翻 訳

独逸の戦時食糧供給問題	後藤 国吉	182
-------------	-------	-----

第16卷 第1～3号 (1943年9月)

論 文

國民經濟有機体観に於ける企業の自律性	宇尾野 宗尊	1
大東亜支配の思想史的發展〔中〕	鈴木 憲久	33
社債の償還方法及其の記帳法	平岡 市三	67
株式取引所限月問題	永田 鉄三	99
戦時工業金融の諸問題	大沼 健吉	133
統制会の任務と権限	永田 菊四郎	177
日向飢肥藩の田制と林制	飯田 照夫	215